あすなろ

ボーイスカウト東京連盟
あすなろ地区　広報誌
第２３号

2018年 11月 26日
組織拡充委員会

指導者研修セミナー開催

１１月２４日(土)、あすなろ地区指導者研修セミナーが、ウェルファーム杉並で開催され、各団から２７名の方が参加しました。

セミナーのテーマは「青少年を取り巻く現状とセーフ・フロム・ハーム」で、午前中は基調講演として、杉並区保健福祉部児童青少年課の土田課長より「杉並区の青少年教育の施策」について、また杉並区立済美教育センターの平崎一美所長から「青少年を取り巻く現状」のお話をいただきました。

午後は沼上地区副コミッショナーより「スカウト運動とセーフ・フロム・ハーム」の話のあと、スカウト活動のいじめの発生と対応について４つの班に分かれてグループ討議が行われ、各班の討議内容の発表が行われました。

土田課長、平崎所長

各班の討議内容発表

BS日本連盟、東京連盟、スカウトショップ　杉並にようこそ

日本連盟スカウト会館が文京区本郷から杉並区下井草へ移転となり、それに伴い日本連盟事務局とスカウトミュージアム・スカウトライブラリー及び東京連盟事務局も移転して、１０月１日（月）より業務が開始されました。

１階は東京連盟とスカウトライブラリーがあり、２階は日本連盟になります。

１０月２日(火)には、岡村地区協議会長と佐藤地区委員長が表敬訪問して、日本連盟の会議開始前の多忙な時間でしたが、日本連盟の水野副理事長、佐野常務理事、山内常務理事・東京連盟理事長に、あすなろ地区移転に歓迎の意を表して、日本連盟・東京連盟へ観葉植物「パキラ」を一基ずつ贈呈しました。

あすなろ地区としては記念品として、当初は「３つのちかい」にちなんで、「あすなろの苗木を３本」植樹させて頂くアイディアもありましたが、敷地内にスペースが無く、屋内への植栽の贈呈となりました。

スカウトミュージアムとライブラリーは、開館準備中ですが、スカウトショップは、杉並公会堂と四面道の間にある自然食品「ころ」のビルの３階で、１１月４日（日）より営業を始めています。

あすなろ地区の関係者にとっては、同じ地区内に日本連盟、東京連盟、スカウトショップが所在することから、気軽に立ち寄ることができ、利便性が増すことになりました。

左より佐藤地区委員長、水野副理事長、山内常務理事・東京連盟理事長
佐野常務理事、岡村地区協議会長

観葉植物パキラ

日本連盟・東京連盟の建物、玄関

東京連盟の事務室

スカウトショップの店内

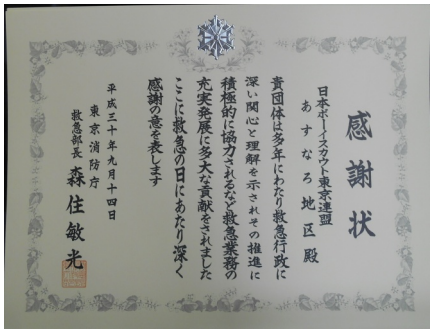
富士スカウト章の記念品授与

１０月２５日(木)、 阿佐谷地域区民センターで開催された地区委員会の開催前に、富士スカウトに進級した杉並１１団の牛山明音、山本虎太郎、吉岡優奈の皆さんに、日本連盟より富士スカウト章の記念品として、チーフリング、バックルが授与されました。

交付番号入りの富士スカウト章バックル

消防署より感謝状

９月１４日(金)、救急業務協力者感謝状贈呈式が中野消防署で開催され、あすなろ地区は毎年、普通救命講習などを開催し、救急業務の充実発展に貢献したことから、東京消防庁救急部長名の感謝状が中野消防署長より佐藤地区委員長に授与されました。



感謝状

日本ボーイスカウト東京連盟
あすなろ地区 殿

貴団体は多年にわたり救急行政に深い関心と理解を示されその推進に積極的に協力されるなど救急業務の充実発展に多大な貢献をされましたここに救急の日にあたり深く感謝の意を表します

平成三十年九月十四日
東京消防庁
救急部長 森住敏光

ウッドバッジ伝達式

１１月１５日(木)、東京連盟にて隊指導者上級訓練（ウッドバッジ実修所）を修了した指導者にビーズおよび修了証の伝達式があり、あすなろ地区の小平吉彦さん（杉並１２団ボーイ隊長、ＢＳ課程191期）、幾代 貴さん（杉並１３団カブ隊長、ＣＳ課程164期）にギルウェルスカーフおよびウッドバッジが県連盟コミッショナー代理から伝達されました。

また、下地コミッショナーには、コミッショナー上級訓練修了証が伝達されました。

小平吉彦さん

幾代 貴さん

なかのまちめぐり　中野四季の森公園

１１月１１日(日)、なかのまちめぐり博覧会のイベントとして、中野四季の森公園で「みんなであそぼう！ワクワクランド～冒険の森を探検しよう！」が開催されました。

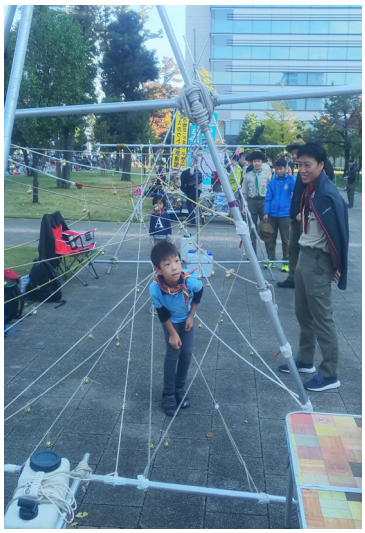
天気にも恵まれた会場には、中野３団「クルトン牧場のカーボーイ」、中野５団「割りばし鉄砲」、杉並４団「手裏剣」、杉並１１団「コンパスゲーム」、中野８団「ボーイスカウトＰＲコーナー」、杉並５団「見つからないように進め」、杉並９団「ポリ傘袋ロケット」のコーナーが並び、杉並２団は管理棟に救護所を設けました。

あすなろ地区では中野区内のすべての小学校に開催案内のチラシを配布したこともあり、多くの子どもたちが参加しました。

受付では参加したこども達に参加カードを首からかけてもらい、冒険の森を探検するゲームにチャレンジするたびに修了のスタンプを押して、全部のコーナーのスタンプが押された子どもには、修了証と参加の記念品を手渡しました。

なかのまちめぐりキャラクター
クルトン中野

各団の指導者、スカウトの皆さんは、持ち場となったコーナーで、来場した子どもたちにゲームの説明や工作の指導をしたり、安全に遊べるように配慮しました。



ローバー１００キロハイク

１１月１０日(土)より１１日(日)まで、「第52回東京連盟ローバー100kmハイク」が開催され、１０日(土)午後２時、芝増上寺を一斉スタートしました。

コース全体図の通り、都内に設置された６つのチェックポイントをまわって100kmの道を歩き、１１日(日)午後２時までにゴールの芝増上寺をめざしました。

100kmハイクは東京連盟だけでなく、他県連のローバースカウトや２５歳までの指導者の324名が参加し、完歩率は77.2%（男子76.2%、女子79.1%）と、過去最高の完歩率となりました。

第３チェックポイントは環八近くの双百合幼稚園（南荻窪1-4-11）に設定されたため、あすなろ地区では、各団指導者に１０日より翌日未明にかけて奉仕いただき、環八からの進入路での誘導、到着者の通過時間の記録や、休憩の案内などの対応をしました。

双百合幼稚園では通過時間を記録すると、すぐに次のチェックポイントに向けて元気よく出発する人や小休止する人、休憩所で靴を脱いで足を揉んだり、足裏にできたマメの手当てをする人、体力の限界を感じて残念ながらここでリタイアする人など、様々でした。

あすなろ地区のハイク参加者は石原滉士（杉並３団）、関戸大輔（杉並５団）、三田史彬（杉並１１団）の３名で、石原滉士さんが見事にゴールまで完歩しました。

防災を体験して なろう一人前に！　… 楽しい歌とゲームの教室

１０月２８日(日)、桃井第三小学校の校庭で、杉並区と共催の「楽しい歌とゲームの教室」が開催されました。

テーマは「防災を体験して　なろう一人前に！」で、ゲーム体験を通じて災害の備えの大切さを知り、発生した時には、すみやかに行動できることを目的にしました。

各団のビーバースカウト、指導者、保護者と、杉並区の広報や、杉並区内の小学校などに配布されたチラシを見て参加した一般の子供たちが、ともに参加しました

開会セレモニーのあと、「みんなで大きな輪を作ろう」を歌い、チームに分かれれて「ポンチョ着替え」、「持ち出しグッズを作ろう」、「におい探し」、「バケツリレー」などのゲームを楽しみました。

受付

開会セレモニー

全員で記念撮影

みんなで大きな輪を作ろう

ポンチョをすみやかに着て、きれいにたたんで袋へ

上手にできたかチェック

持ち出しグッズゲーム

においさし

バケツリレー

すぎなみ舞祭り　　下高井戸おおぞら公園で

１０月１４日(日)、「すぎなみ舞祭2018」が下高井戸のおおぞら公園で開催され、開会前までは小雨でしたが、午前９時の開会式の総踊りの頃には、次第に晴れ間が広がり、地元のダンスチームのほか、茨城県からのチーム参加もあり、飲食の出店や出展者も多く、にぎわいました。

あすなろ地区各団の指導者、地区ローバーは、前日には会場の設営を担当し、当日は車両誘導、巡回警備などの会場設営のほか、あすなろ地区のテント周りで、魚釣り、輪ゴム鉄砲、輪投げ、袋の中の品を探るキムスゲーム、ポリ傘袋のロケット作りのゲームの指導をしました。

またローバースカウトはゲームを楽しむ子どもの保護者に積極的に声をかけ、地区のパンフレットを配布してボーイ活動の説明やボーイスカウトのＰＲ活動を行いました。

おおぞら公園は昨年４月に開園した新しい公園で、来場した参加者や家族連れの皆さんは、一面に広がる芝生にシートを広げてダンスの観覧や応援をするなど、楽しんでいました。

ボーイスカウト講習会

１０月２１日(日)、第285回ボーイスカウト講習会が西荻地域区民センターで開催され、２１名の方が３班編成で参加しました。開講式では佐藤地区委員長、杉並区児童青少年課の豊田係長さんの挨拶がありました。

主任講師は日本連盟副リーダートレーナーの黒川泰一さんで、『ボーイスカウト講習会はスカウト活動がどのようなものか知っていただく導入訓練で、「行うことによって学ぶ」ことを体験していただきたい』との話がありました。

講習会は室内での各セッションのほか、秋空の広がる近くの桃井原っぱ広場で隊集会があり、班に分かれて集会を開き、パトローリングの体制で公園内をハイキングしました。木立の中にはキムス、歩測、ロープワークの各ポイントでゲームに挑戦し、木陰でホットドッグ、バナナの昼食になりました。

閉講式では、受講した皆さんに修了証が手渡されました。

自己紹介ゲーム

ロープワーク・歩測の練習

隊集会での隊長挨拶

ハイキングに出発

輪投げの練習

木と木の間を歩測

木陰で班ごとの昼食

各講師からのセッション

信号塔など パイオニアリング技能章訓練

９月１７日（月・祝）、八王子ひよどり山キャンプ場でパイオニアリングの技能章訓練がおこなわれました。

これは、今年度からボーイ部門とベンチャー部門の進級制度が新制度に移行されたことから、新制度による技能章修得促進のため、あすなろ地区として開催されたものです。

参加者には事前に信号塔の模型を作りながら、ロープ結びを練習して持参することが課題となりました。

参加したのは各団のボーイ隊とベンチャー隊のスカウト１９名、指導者９名で、開会式のあと、３つのグループに分かれ、丸太材と荒縄を使い、角縛り、筋交い縛り、８の字縛りなどで三脚信号塔、台形信号塔、投てき機を作成しました。完成まで時間がかかったため、２つの塔の間での手旗通信の予定は割愛となりましたが、信号塔からの眺めは最高で、投てき機の石は見事な放物線を描いて飛びました。

スカウトジャンボリー解隊式

９月９日(日)、ゆう杉並体育館であすなろ地区の「第17回日本スカウトジャンボリー解散会」及び「ハワイ派遣隊解隊式」が開催され、参加者、団関係者、保護者の方々が集まりました。

主催者として岡村地区協議会長が挨拶し、来賓紹介のあと、ジャンボリー参加の東京２３，２４，２５隊の米田元（杉並１１団）、小平吉彦(杉並１２団）、森宇宙（杉並５団）各隊幹事隊長に感謝状が授与され、各隊幹事隊長、大会運営スタッフからジャンボリーの帰着報告がありました。

また、ジャンボリー日本一に入賞した「コンパスゲーム、ボーイ５人班の部」で全国第３位の「杉並６団・８団合同班」の菊池巧真、西田龍夫、オドネルジャック航、オドネルウイリアム陽、横山禅の皆さんと、「ボーイ７人班の部」で全国第２位の「杉並１１団オオカミ班」の高野夏帆、奥村政為、平井飛向、梅原来羽、逢坂真依、長谷川涼々、米田真大の皆さんに記念品贈呈がありました。

幹事隊長の解任、混成隊の解隊により解隊式に引続いて、地区ローバーハワイ派遣隊の解隊式がありました。

岡村地区協議会長の挨拶

各隊幹事隊長に感謝状授与

ジャンボリー参加のスカウト、指導者

ゲーム日本一各班へ記念品授与

解隊式

ハワイ派遣隊の解隊式

香港スカウトのホームステイ家庭に感謝状

９月２７日(木)、ウェルファーム杉並で開催された地区協議会前に、ジャンボリーに参加した香港スカウトのホームステイを受け入れた杉並３団ベンチャー隊の秦ゆかりさんはじめ、杉並４団ボーイ隊の高木和弥さん、杉並９団ボーイ隊の高見玲英さん、杉並１１団カブ隊の藤原滉矢さんの保護者に、佐藤地区委員長より感謝状が渡されました。

秦さんは前号でも紹介した通り、ベンチャープロジェクトの「国際文化」分野の挑戦で、ジャンボリーに参加した香港の女子３名のスカウトを受け入れ、国際交流を深めました。

受賞のあと、秦さんとお母さまはご家庭に受け入れた香港スカウトの様子や東京の観光案内で体験した国際交流などの感想を述べられました。

ＢＳＡアメリカ開拓者キャンプに参加　BS派遣幹事隊長 小倉俊一（中野8団）

10/19（金）～21（日）、東京都稲城市にある米軍多摩レクリエーションセンターで、ボーイスカウト東京連盟スカウトとアメリカ極東連盟スカウトとの交流を目的とした“アメリカンフロンティアキャンプ”が開催されました。

今年のテーマは“マウンテンマン・ランデブー”で、開拓時代に山野を渡り歩いた山男の交易の様子がアクティビティで再現されました。参加者は約500名で、あすなろ地区幹事隊長として、参加スカウトを引率しました。

10月19日（金）第1日目

あすなろ地区派遣隊は杉並3団、6団、8団、中野8団のスカウトと引率指導者併せて10名で、JR南武線南多摩駅に集合した。徒歩約10分で会場ゲートに到着し、大人はパスポートまたは免許証、スカウトは生徒手帳で全員が入場した。

ゲートの中は別世界で、行政上は国外であることに加え、豊かな自然が残されている。ＢＰロッジでチェックイン、記念Ｔシャツとワッペンを受け取り、指定のＫサイトに移動後、弁当で夕食をとり、夜間設営をすませ、班会議とＧＢ会議を終えて消灯、就寝した。

10月20日（土）第2日目

開会式はＢＰロッジ前フクダフィールドでＢＳＡ主導で行われ、Scout-Oath or Promise(誓い)とScout Law(おきて)を全員で唱和していたのが印象に残った。今年は派遣隊指導者もアクティビティの引率管理をまかされ、3グループ担当となった。

1. ライフル射撃；人気のアクティビティの1つで、的をエアライフルＢＢ弾で射撃する。
2. 斧投げ；的に斧を投げて突き刺すもの。普段はできない斧を投げるのが面白いが、的が小さく高難度だった。
3. アーチェリー；文字通り離れた的を洋弓で射るもので、各自競いあう人気競技。
4. インディアンの昔話；米民謡(ゆかいな牧場)を合唱するが、発音が難しく盛り上がらない。
5. 火起こしゲーム；張ったひもをマッチで落ち葉に火をつけ焼切る。わかりやすく好評。
6. 焼き印；カウボーイの家畜を見分けるため、焼きゴテで印をつけていたことにちなむ。皮のバックルまたはチーフリングに焼きゴテで印を付ける。
7. 通行証；マウンテンマンの通行証に使われた。ペンダントに刻印を打つもので、焼き印同様に雰囲気があった。
8. 砂金採り；金が本当にとれると思って臨んだスカウトもいるかもしれないが、実際には金になぞらえた鉄の粒をタライの砂中から見つけ出すもの。結構盛り上がった。
9. 開拓者のゲーム；蹄鉄投げはカブ時代によく遊んだ筆者にとっては懐かしかった。

昼食は大きなソーセージとナンのホットドッグとスナック菓子、カスタードクリームほか。夕食はステーキとジャガイモ、煮豆サラダで、開拓時代の雰囲気満点だが、スカウトにとっては肉が硬すぎてそれどころではなかったかも知れない。

残念ながら今年はアクティビティの表彰はあすなろ地区からは無かった。キャンプファイヤでは、退役した星条旗を焼却する場面はスカウトに印象が残った様子だった。

帰営し班会議、ＧＢ会議で報告を受け、午後10時消灯就寝。1日よく遊んだので寝るのも早かった。

10月21日（日）第3日目

好天に恵まれ早めにチェックアウトして全員無事に解散し、スカウトは各々の思い出を胸に帰路についた。

ふり返って全体の印象は、アクティビティはおおむねスカウトに好評だった。

交流の場面が少なかったのは今後改善を要するところ。来年以降は、あすなろ地区内の多くの団からの参加が期待される。

地区ローバー 北海道地震の募金活動　　杉並5団ローバー隊　関戸大輔

９月１５日（土）、あすなろ地区ローバーは中野サンプラザ前で、９月６日に発生した「北海道胆振（いぶり）東部地震」義援金の募金活動を行いました。あすなろ地区内から６人のローバーが集まり、終始賑やかな雰囲気で活動を行いました。

約２時間で５０名以上に募金していただき、49,403円が集まりました。集めた募金は、「北海道胆振東部地震」義援金として、ボーイスカウト日本連盟を通じて、日本赤十字社に送られました。

募金活動を通じて、募金を集めるとともに、奉仕活動や自分たちができることは何かを考えるきっかけになったと感じています。今後も、様々な奉仕活動を継続して行っていきたいです。

北海道胆振東部地震により被災された方々の一日も早い復興を心からお祈りします。

地区ローバー　夏キャンプでキャニオニング

９月７日(金)から９日(日)にかけて、あすなろ地区ローバーは、あきる野市にある大岳キャンプ場で夏キャンプを行い、１０名のローバースカウトが参加しました。

キャンプのメインプログラムは「キャニオニング」でした。キャニオニングは渓谷の天然の滑り台や、数メートルの高さから滝壺に飛び込む自然を大満喫するコースでした。９月の上旬とはいえ、奥多摩の山の上だったため、谷川の水はとても冷たく、体が水に慣れるまで時間がかかりましたが、キャニオニングを楽しむことができました。

夜も寒く、火を囲んで語りあって楽しい時間をすごすことができました。

夏キャンプに各団の１０名のローバースカウトが参加し、地区ローバーの活動に参加するメンバーが増えてきたので、これからもあすなろ地区を盛り上げていく活動を展開していきたいと思います。